

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回戸田市DX推進計画検討委員会
開催日時	令和7年8月28日（木） 午後1時15分 ～午後2時15分
開催場所	501会議室
委員長等氏名	委員長：学識経験者 庄司 昌彦 副委員長：共創企画課長 渡辺 大助
出席者氏名 （委員）	【行政DXに興味関心がある市民又は市内ICT関連企業在勤者】 Code for TODA 伊藤 利昭 戸田市ITボランティアの会 稲田 隆博 【市職員】 市長公室担当課長（市長公室長） 内山 敏哉 危機管理防災課長 雨宮 博子 行政管理課 主幹 矢作 圭翼（代理出席） 市民課長 山道 敏雄 経済戦略室担当課長 長谷川 昌之 生活支援課長 高木 健悟 子育て支援課長 鎌田 陽子 都市計画課長 今泉 良太 市民医療センター総務課 主幹 山本 夏美（代理出席） 会計課 主幹 増澤 直哉（代理出席） 総務課長（水安全部次長） 東口 俊博 総務課長（消防本部） 仲澤 康之 議会事務局次長 生出 豊 教育総務課長 重信 雄太 行政委員会事務局担当課長 遠藤 康雄
欠席者氏名 （委員）	
説明のため 出席した者	
事務局	デジタル戦略室 佐藤室長、島田課長、菊地副主幹、伊藤副主幹、林主任 インフォ・ラウンジ株式会社 小林氏、下山氏、大井手氏、平井氏

議 題	1. 戸田市D X推進計画検討委員会の目的等について 2. 戸田市D X推進計画策定の背景と国等の動向について 3. 戸田市が目指すビジョンと現状分析の進捗状況について 4. 意見交換・質疑応答 5. その他
会 議 結 果	各議題について、事務局説明のとおり承認 なお、委員からの質疑・意見を踏まえ事務局として対応していく。
会議の経過	別紙のとおり
会 議 資 料	資料1 第1回戸田市D X推進計画検討委員会資料 資料2 戸田市D X推進計画検討委員会設置要綱 資料3 戸田市D X推進計画検討委員会委員名簿
議事録確定	年 月 日 委員長等氏名 ㊟

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局 市長	【 1 開会 】 【 2 挨拶 】 戸田市では、第3次情報化推進計画に基づき様々なDX事業を進めている。次期計画策定に当たり、どういったことをやっていくべきか、変化の激しい時代の中で何をやるべきか検討していくのが、この検討委員会の役割だと思っている。 戸田市では令和3年9月にデジタル宣言を出した。コロナ禍で密を避けるため、デジタル化を一気に進めようという意識のもとスタートした。全国でも早い段階で生成AIを活用したり、kintoneを使って職員自身でプログラムを組み活用するといった取組も行っている。私自身も、市長説明の際は原則紙の使用を禁止するなど、一つ一つ、DX推進に取り組んでいる。自治体情報システムの標準化といったDX推進と並行して進めるべき事業も多く、職員の業務負荷も多いと思われるが、他自治体や民間もデジタル化が急速に進んでおり、戸田市でも未来を見据えながら取組を進めることが必要である。 戸田市は平均年齢も若く感受性の高い市民も多い。市民の期待は大きいと思われるが、職員もそれに応える能力が非常に高いと自負している。 DX推進への羅針盤を庄司教授にご指導いただきながら、みんなで考えて取り組みを進めていくことが大切である。今日は庄司教授から貴重な講演をいただくということで、これをスタートとし、みんなで情報共有や認識合わせをしながら、DX化を進める機会にしていきたい。委員の皆さまの前向きなご意見に期待をさせていただき挨拶とさせていただきます。 ※公務の関係で菅原市長退席 (委員の紹介ならびに委員長の決定) 戸田市DX推進計画検討委員会設置要綱に基づき、学識経験者 庄司委員が委員長に就任。また、委員長指名により、共創企画課長 渡辺委員が副委員長に就任

	【3 庄司委員長講演】 画面投影資料「自治体D Xの意義と動向」 資料に基づき委員長より講演
事務局	【4 議題】 議題1 戸田市D X推進計画検討委員会の目的等について 資料1（1）について、資料に基づき事務局から説明。 ※質疑なし
事務局	議題2 戸田市D X推進計画策定の背景と国等の動向について 資料1（2）について、事務局から説明。
委員長	13 ページの国の関連法令について、2024 年に地方自治法が改正され、D Xの進展を踏まえた対応について盛り込まれたので、その点も計画に記載してはどうか。
事務局	ご助言いただいたことを、しっかり計画に反映してまいりたい。
委員	9 ページの戸田市の状況について、「東京近郊の工業都市」という言葉には違和感がある。計画に掲載するのであれば、文言を見直してはどうか。 また、20 ページと 21 ページに自治体内部のD X活用事例があるが、今後、改めて先進事例の具体的な事例を説明する予定はあるか。
事務局	1 点目のご意見について、お示ししている資料は、あくまで本委員会における検討資料である。計画に落とし込む際は、しっかり文面等精査し掲載させていただく。 2 点目のご意見について、先進自治体の事例は今後の施策策定に必要な事項だと思っている。先進自治体のより詳細な取り組みについて、次回会議の資料に掲載させていただき、施策検討にあたっての素材としたい。

事務局	議題３ 戸田市が目指すビジョンと現状分析の進捗状況について 資料１（３）について、事務局から説明。 ※質疑なし 議題４ 意見交換・質疑応答
委員	D X推進計画は誰のためのものか。市民に重きをおいているか、それとも行政の業務負担の軽減か。
事務局	ともに大切だと考えている。市役所は市民のための組織であり、D X推進によって市民の利便性を向上させることは重要である。一方、先ほどの庄司委員長の講演にもあったとおり、今後人口減少が見えてくる中で、市役所の業務の効率化・働き方改革が必要になってくる。これがひいては、市民のサービス・利便性向上にも繋がると考えている。これら両方の視点で進めていくことが必要だと思っている。
委員	PC とスマホを一般の方にどう普及していくかを懸念している。デジタルデバイドについてご意見をお聞きしたい。
事務局	国のデジタル・トランスフォーメーション推進計画にも取りあげられており、自治体のD X推進とあわせて取り組んでいく取り組みの一つと認識している。デジタル技術が不得意な方、親しみを持たない方にも配慮し取り組んでいきたい。「誰ひとり取り残されないデジタル化」を目指し取り組んでいきたい。
委員長	議題３の現状分析と進捗状況が曖昧である。今後アンケート結果が出てくると思うが、市民や職員の実感だけではなく第３次情報化推進計画での結果も踏まえ、次期計画を検討してはどうか。
事務局	第３次情報化推進計画の進捗状況も各課に照会をかけ、現在集計中である。集計結果について、改めてお示しさせていただく。

委員	D X 推進と行財政改革大綱で重複する部分がある。差別化、住み分けや統合についてどうお考えか。
事務局	総合振興計画をはじめ、市の他の方針とも整合性を図りつつ、業務改革全般として足並みをそろえていく必要がある。組織体制にもかかわる可能性があり、市全体として連携して取り組むことが重要だと考えている。
	議題 5 その他
事務局	今後のスケジュール 資料 1（5）について、事務局（戸田市）から説明。 ※質疑なし
	【5 閉会】